

cotomi Appliance Server ご使用時の注意事項

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用において、ご注意くださいことがあります。誠におそれ入りますが、ご使用前に下記内容を必ずご一読ください。

なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

- 1) はじめに
- 2) システム ROM の機能に関する注意事項
- 3) iLO 6 の機能に関する注意事項
- 4) OS に関する注意事項
- 5) 全般の機能に関わる注意事項

1) はじめに

本製品のマニュアルについて

本製品に関する詳細は、以下のWebサイトに掲載しているマニュアルに記載しています。

<https://www.support.nec.co.jp/>

「NECサポートポータル内検索」より、以下のIDで検索してください。

ID: 3170102871

また、ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、エクスプレス通報サービス/
エクスプレス通報サービス(HTTPS)/エクスプレス通報サービス(MG)に関しては、

ESMPRO 日本語ポータルサイト <https://jpn.nec.com/esmsm/>

NEC サポートポータル <https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

の最新の情報およびバージョンをご確認のうえ、ご利用ください。

Starter Pack について

本製品で使用するStarter Packは、以下のWebサイトに掲載されています。

Webサイトに掲載されている内容を確認し、バージョン S8.10-011.03を適用してください。

<https://www.support.nec.co.jp/>

「NECサポートポータル内検索」より、「S8.10-011.03」を検索してください。

本製品の保守作業時間に関して

本製品は、障害発生時等に伴う保守作業に際し、保守部材と搭載ファームウェア、ドライバの組み合わせによっては、保守作業に時間を要することがあります。

2) システム ROM の機能に関する注意事項

Memory Initialization - Start」のメッセージで POST 停止した場合の対処について

本体装置の電源投入後、「Memory Initialization - Start」のメッセージで、まれにPOST 停止することがあります。本現象発生時は、以下の手順で復旧してください。

- (1) 本体前面の電源スイッチ(または、iLOのWebインターフェースにあるPowerアイコン)を4秒以上長押しして、本体装置の電源をオフにします。
- (2) 本体前面の電源スイッチ(または、iLOのWebインターフェースにあるPowerアイコン)を押して、本体装置の電源をオンにして正常に起動する事を確認してください。

現象発生時の POST メッセージ

```
NEC Express5800 System BIOS UXX vY.ZZ (mm/dd/yyyy)
Early system initialization, please wait...
System Chipset initialization
UPI Link initialization - Start
UPI Link initialization - Complete
Early Processor initialization
Memory initialization - Start
```

PCIe Slot の Link Speed 設定について

下記のPCIe SlotについてPCIe Link Speed (*1)を変更してもLink Speedに反映されません。常に最大Link Speedで動作します。

R120j-1M : PCIe Slot 3

R120j-2M : PCIe Slot 4/5/6

(*1) PCIe Link Speed設定メニュー

BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Device Configuration > PCIe Slot X : "Device名" > PCIe Link Speed : 【Auto】 / PCIe Generation 1.0 / PCIe Generation 2.0 / PCIe Generation 3.0

PCIe Slot X : R120j-1MはPCIe Slot 3、R120j-2MはPCIe Slot 4/5/6

"Device名" : 実装されるPCIe Deviceによって表示が変わります。

PCIe Link Speed : デフォルト設定は[Auto]です。設定変更は行わないでください。

実装されるPCIe Deviceによって、選択可能なPCIe Generation 1.0/2.0/3.0は変わります。

将来のシステム ROM で修正される予定です。

RBSU にて Embedded LOM を Disabled に設定し、設定を保存すると装置がまれにハングアップする

RBSUでEmbedded LOM(*)をDisabledに設定する事で発生します(出荷時設定はAutoです)。
Embedded LOMをDisabledに設定し、<F10>キーまたは<F12>キーを押下して「Do you want to save changes?」のポップアップ表示のあと設定を保存すると、装置が稀にハングアップすることがあります。

ハングアップした場合は、ソフトリセットにより装置を再起動すると、正常に起動します。
その際、Embedded LOM 1 > PCIe Device DisableオプションはDisabledに設定されています。設定をAutoに戻し、保存してください。

(*) 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > RBSU > PCIe Device Configuration > Embedded LOM 1 > PCIe Device Disable」

View IML に関する注意事項

次の条件を満たすシステムにおいてシステムユーティリティのView IML機能(*1)は使用しないでください。

- ・システムROM v2.16 (03/01/2024)未満
- かつ
- ・RAIDコントローラ(N8103-243/245)を搭載 (Firmware Version 5.61)

上記条件を満たした状態でView IML機能を使用すると、RSoD (Red Screen of Death)が発生します。
そのため、IMLログを表示する場合は、iLO Webインターフェイス(*2)を使用してください。
なお、RSoDが発生した場合には、システムの復旧のために電源をOff/Onにする必要があります。

(*1) System Utilities > Embedded Applications > Integrated Management Log (IML)

(*2) iLO Webインターフェイス：[Information] – [Integrated Management Log]

Boot Order Policy オプションについての注意事項

「Boot Order Policy」オプション(*)は、「Reset After Failed Boot Attempt」に設定してください。
本設定により、Boot Order のリストにあるすべてのブートデバイスでブートに失敗した（ブートデバイスが初期化に時間がかかるなど）場合、システムの再起動を行います。
システムの再起動により、ブート処理を再実行することでOSブートに成功することがあります。

2023年8月より、「Boot Order Policy」オプションの工場出荷時設定は [Retry Boot Order Indefinitely] から [Reset After Failed Boot Attempt] に変更されました。

(*)BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Boot Options > Boot Order Policy

3) iLO 6の機能に関する注意事項

iLO の再起動を行う場合の注意事項

サーバー起動からOSの起動完了までの間(POST (Power On Self Test)実行中も含みます)は、iLOの再起動を行わないでください。

また、システムユーティリティの操作途中も、iLOの再起動を行わないでください。

該当タイミングでiLOの再起動を行うと、期待しない動作となる場合があります。

たとえばシステムユーティリティの設定変更途中にiLOの再起動(※)を行うと、直後のシステム再起動処理(Reboot)が正常に動作しない場合や、装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報を消失することがあります。また、POST (Power On Self Test)実行中にiLOの再起動を行うと、iLO Webインターフェース：[Information] - [Overview]ページにおけるUUID、UUID(論理)が不正な表示になる場合があります。

不正な表示となった場合は、本体装置の電源をオフ、オンしてください。

<対象となるiLOの再起動の方法>

- iLO Webインターフェースなどを利用したネットワーク経由でのiLOの再起動。
- UIDスイッチを使用したiLOの再起動。

※ システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での設定変更後のiLOの再起動については、本書の「システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項」を参照して操作してください。


iLO のダウングレードポリシー機能の注意事項

iLOの拡張ライセンスがインストールされている場合、[Security] - [Access Settings] - [Update Service] - [Downgrade Policy]の設定を『Permanently disallow downgrades』に変更しないでください。

『Permanently disallow downgrades』に設定した場合、ファームウェアのダウングレードを行うことができなくなります。また、iLOに対して永続的な変更が行われるため、『Permanently disallow downgrades』に設定後は、iLOの各種インターフェースや各種ユーティリティから本設定の変更を行おうとしても変更することができません。

なお、本設定はSet to factory defaultsオプションからiLOを出荷時のデフォルト設定にリセットを行った場合においても、リセットされず『Permanently disallow downgrades』を維持します。

iLO のセキュリティ機能の注意事項

iLO Webインターフェースの[Information] - [Security Dashboard]およびiLO Webインターフェース画面の  右上部にリスクが表示される場合があります。

RBSUの設定やiLOの設定の内容によって、iLOセキュリティの状態がリスク状態(赤色)で表示されますので、お客様のセキュリティポリシーに応じてセキュリティの対処を行ってください。

推奨値などの詳細については、iLO 6ユーザーズガイドを参照してください。

ただし、『Require Host Authentication』設定については、本書内の「**iLO Webインターフェースの[ホスト認証が必要]設定における注意事項**」に記載がありますので、ご確認ください。

iLOの負荷の状態により[Information] - [Security Dashboard]の”全体セキュリティステータス”が『リスク』であっても、iLO Webインターフェース画面の右上部の”iLOセキュリティ”アイコンが無色になる場合があります。[Information] - [Security Dashboard]の”全体セキュリティステータス”が現在のセキュリティ状態を示します。

iLO の時刻設定について

iLOの時刻設定は、iLO WebインターフェースにてSNTPの設定を行い、ご使用いただくことを推奨します。iLOのSNTPの設定方法については、iLO 6ユーザーズガイドを参照してください。

iLO Web インターフェースの[ホスト認証が必要]設定における注意事項

[Security] - [Access Setting] - [iLO]にある[ホスト認証が必要/Require Host Authentication]を『有効』に設定しないでください。

『有効』に設定を行った場合、次に示す状況が発生します。

- アラートビューアに、“Remote Insight/Integrated Lights-Out認証されないログイン試行検出”のメッセージが多数表示されます。
- Starter Pack (Standard Program Package)を適用するとエラーが発生します。

また、次のサービスや機能をご利用頂けません。

- エクスプレス通報サービスにおいてハードウェア障害に関する通報
- RAID通報サービス
- サーバ診断カルテのハードウェア診断機能
- iLOが収集するハードウェアに関するデバイス情報や設定情報の参照、およびイベントログ採取機能

ネットワークブリッジ構成時の iLO Web インターフェースのネットワーク情報の表示について

ネットワークをブリッジ設定で構成してご使用の場合、iLO Webインターフェースの[Information] - [Network] - [Physical Network Adapters]に表示される内容がOS上の内容と一致しない場合があります。ブリッジ情報の詳細は、OS上のネットワークアダプタのプロパティにてご確認ください。

RESTful API ERROR が発生した場合の対処について

POST実行中、稀にRESTful API Errorが発生し、Integrated Management Log (IML)に記録されることがありますが、iLOリセットを行うことで復旧できます。

問題が解決しない場合は、ファーストコンタクトセンターにお問い合わせください。

iLO Web インターフェースの Agentless Management Service(AMS)のステータスについて

iLO Webインターフェースの[System Information] - [Summary] - [Subsystem and Devices]のAgentless Management Service (AMS)のステータスにおいて、不明(または利用不可能)※と表示された場合、iLOリセットを行ってください。

また、その後、10分程度経過した後、以下のAgentless Management Service (AMS)の再起動方法の対象OSを参考に、Agentless Management Service (AMS)を再起動してください。

※ Agentless Management Service (AMS)のステータスが不明(または利用不可能)の状態の場合、iLO Webインターフェースの[System Information] - [Storage] や [Network]の一部の情報が取得できず、正しく表示されません。

< Agentless Management Service(AMS)の再起動方法 >

- Windowsの場合
Windowsの管理ツール → サービス → "Agentless Management Service" を右クリックし、再起動してください。
- Red Hat Enterprise Linux 8.xの場合
以下のコマンドを実行します。
systemctl restart smad
systemctl restart amsd
- ESXi7.0/8.0の場合
以下のコマンドを実行します。
/etc/init.d/amsv restart

通報に関する注意事項について

- 論理ドライブ異常時の論理ドライブ縮退や論理ドライブオフラインのSNMP通報・エクスプレス通報内の論理ドライブ番号に実際とは異なるドライブ番号(0)が表示されます。(iLO6 v1.41以降で修正済)

期待値例: Drive:2 Location Slot=1

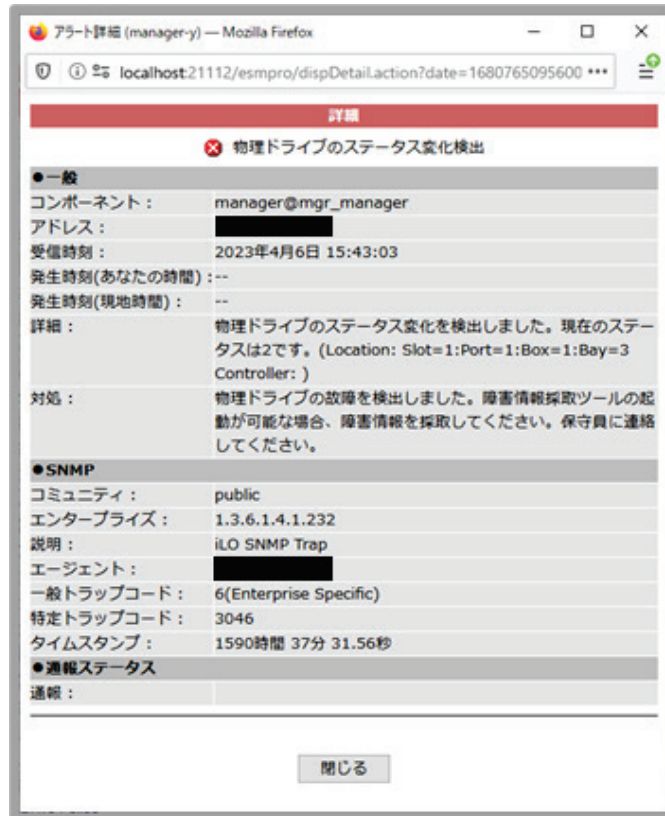
実際値例: Drive:0 Location Slot=1

iLO Webインターフェース: [Information]-[Integrated Management Log]において、下記のIMLにおいて表示されているドライブ番号を確認してください。

論理ドライブ縮退イベント例 : Slot=1 Storage - Volume 2 status changed to degraded

論理ドライブオフラインイベント例: Slot=1 Storage - Volume 2 status changed to failed

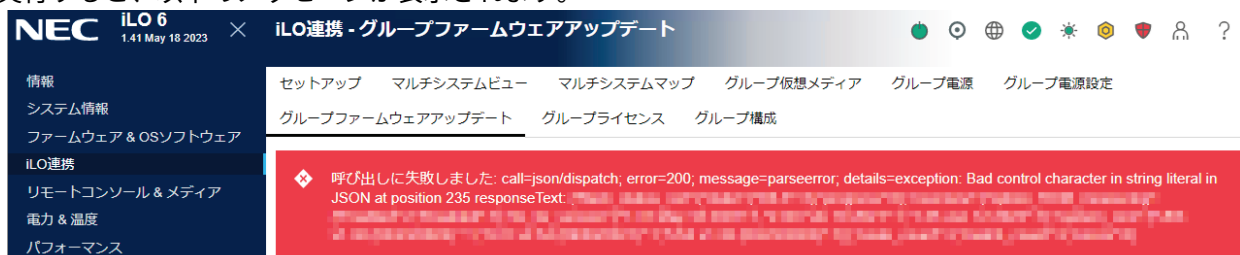
- 論理ドライブを構成した物理ドライブを取り外した際、物理ドライブ故障のエクスプレス通報が通知されません。
- 論理ドライブを構成した物理ドライブを取り外した際、SNMP通報データ中のステータスの値が正常を示す値となります。論理ドライブを構成した物理ドライブを取り外した際、ESMPRO/ServerManager アラートビューアにおいて、「物理ドライブのステータス変化検出」が通知されますが、仕様変更に伴い詳細欄のステータス値が 3ではなく、2が表示されます。
※ステータス値の2は正常(OK)、3は異常(failed)を示します。



iLO 連携グループ ファームウェア アップデート機能が利用できない件について

iLO連携グループ ファームウェア アップデート機能はご利用になれません。

実行すると、以下のメッセージが表示されます。



文章と画像は将来変更の可能性があります。

4) OS に関する注意事項

サーバーマネージャー上の赤い警告表示について

本製品の出荷時状態で、OS起動後にサーバーマネージャーを表示すると、サービスに関する警告が赤色で表示されます。

警告の内容が、Microsoft Edge Update Service (edge update)サービスに関するものである場合、実害はありませんので、無視いただいて問題ありません。

本警告の詳細については、下記URLのマイクロソフト社の情報を参照してください。

Windows Server 2022において、サーバー マネージャー上にedgeupdateサービスに関する警告が表示される

<https://jpwinsup.github.io/blog/2021/09/29/UserInterfaceAndApps/SrvMngWithEdge/>

(2023/9/22 現在)

Linux OS を使用する場合の注意事項

OSが自動的に認識するLOMやオプションNICのデバイス名を使用してください。

独自udevルールを追加する際、PCIアドレスを基準にNICデバイス名を変更したり、固定したりする設定は行わないでください。

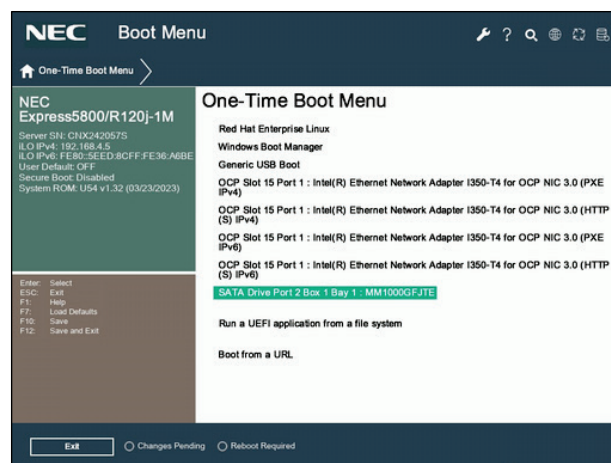
また、PCIアドレスを含む/dev/disk/by-path/配下のストレージデバイス名は使用しないでください。

PCIアドレスを基準にしたデバイス名を使った運用が必要な場合は、PCIスロットへのカード増設/抜去、および、CPU構成変更を行わないでください。PCIバスのアドレス情報が変化し、PCI接続のデバイス名に影響がでることにより、ネットワークやストレージへのアクセスができなくなり、システムが正常に起動できなくなる場合があります。

Red Hat Enterprise Linux を使用する場合の注意事項

ワンタイムブートメニューから起動する場合、OSブートマネージャー(例: Red Hat Enterprise Linux)を選択してください。

OSがインストールされたHDDやSSDなどのブートデバイスを選択してもOSブートできません。



Red Hat(R) Enterprise Linux(R) (x86_64) 起動時の syslog に PCI 関係のメッセージが記録される

Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 8 (x86_64)と起動時のsyslogにPCI関係のメッセージが記録される場合があります。

```
kernel: pcieport 0000:00:0c.0: can't derive routing for PCI INT A
kernel: pcieport 0000:00:0c.0: PCI INT A: not connected
kernel: pcieport 0000:00:0f.0: can't derive routing for PCI INT A
kernel: pcieport 0000:00:0f.0: PCI INT A: not connected
kernel: pcieport 0000:00:10.0: can't derive routing for PCI INT A
kernel: pcieport 0000:00:10.0: PCI INT A: not connected
```

PCI-Expressからの割り込み処理の割り当てができない事を示すメッセージです。
当該機種では、メッセージが示すPCIデバイスは未接続のものであり、動作に影響はありません。

5) 全般の機能に関わる注意事項

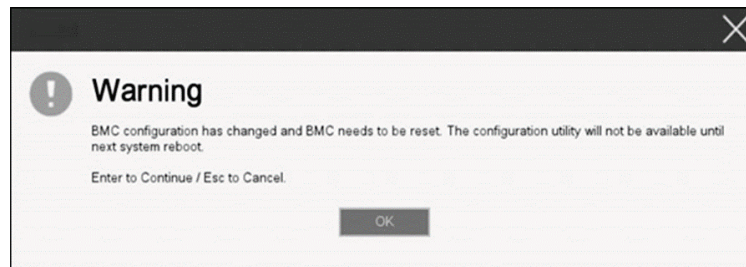
システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項

システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での操作において、以下の(1)のポップアップが表示された場合は(2)以降の手順を厳守してください。

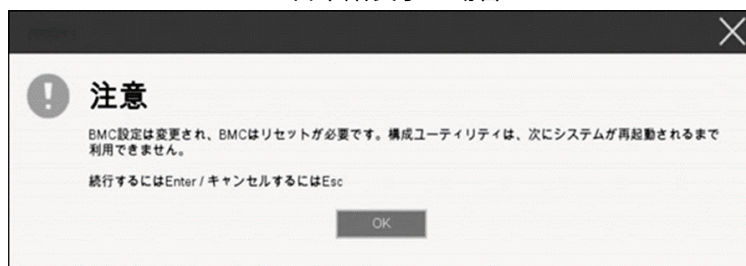
案内の手順に従って操作されない場合、「Memory Initialization Start」のメッセージでPOST停止、あるいは、装置に記録されているSerial Number、Product IDが消失する場合があります。

(1) システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」において設定の変更を行うと、iLOの再起動を行うために、次のWarning (注意)ポップアップが表示されることがあります。

英語表示の場合



日本語表示の場合

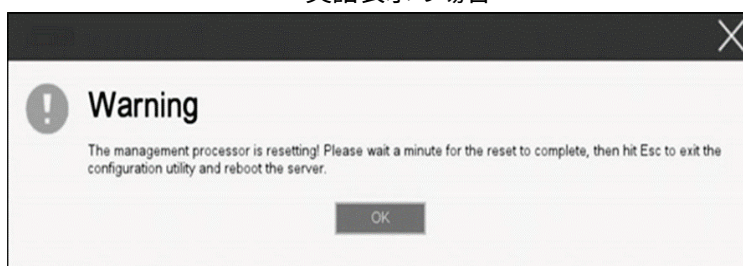


(2) 「OK」を押して進めます。

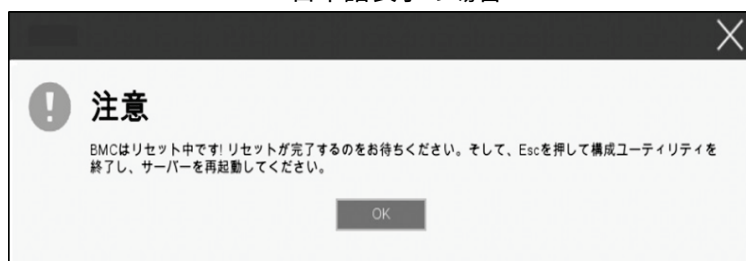
(3) 次のWarning (注意)ポップアップが表示されます。

このWarning (注意)ポップアップが表示されている状態にて、必ず1分以上お待ちください。その間、何も操作しないでください。

英語表示の場合



日本語表示の場合



■本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がありました場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：ファーストコンタクトセンター

T E L ：0120-5800-72

受付時間 ：9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日と弊社休日を除く)

※番号をお間違えにならないようお確かめのうえお問い合わせください。



C B Z - 0 6 2 6 8 2 - 0 0 1 - 0 1

NEC Corporation
2024 年 6 月 第 2 版